

もの言う牧師のエッセー…第1話 「 Pray for Japan ? 」

近頃 “流行”のフレーズだが随分違和感を感じる。そもそも“Pray” というのはあくまで神との会話であり、言うなれば「コミュニケーション」である。神を信じていない者が祈ったとすればそれは「独り言」に等しい。独り言で何かを祈願するくらいで日本が救われるなら何も苦労しない。

そう言えば今年の受験シーズンに寒い中滝に打たれている“茶髪のギャル”をテレビで見た。 また昨年の12月に打ち上げられた「金星探査機あかつき」が金星周回軌道突入の際にも、JAXA（日本宇宙航空研究開発機構）のコントロール・ルームの責任者が「神さま！ お願いします！」なんてやっていた。日本最先端の科学者集団のチーフがである。

いったい彼らは誰に祈っているつもりなのだろうか？ 新約聖書の「使徒の働き」には、イエスの弟子のパウロがギリシャのアテネを訪ねた際、人々が「知られない神を」拜んでいるのを見て憤慨した記述がある。今から2000年近く前のギリシャと言えばアカデミズムが百出した時代であるが、どうやら当時の“賢人”も現代の科学者も「独り言」がお好きなようだ。しかし聖書には

「神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることとを、信じなければならないのです。」

ヘブル11章6節、

とある。我々はまず何はともあれ神の前にへりくだり、その存在を認め、神が我々を愛して下さっていることを信じた時“祈る”ことが出来るのである。その神様は我々にイエス・キリストをくださった。そして今も日々導いてくださる。いま“Pray God for Japan!”しよう。その時“God Bless Japan”となる!!

WE PRAY

F **AND** **R**
THE WHOLE
WORLD

JAPAN

© 2011 NIKKEN INC.